

# イタリアンライグラス「優春」が 「農業新技術2011」に選定されました。

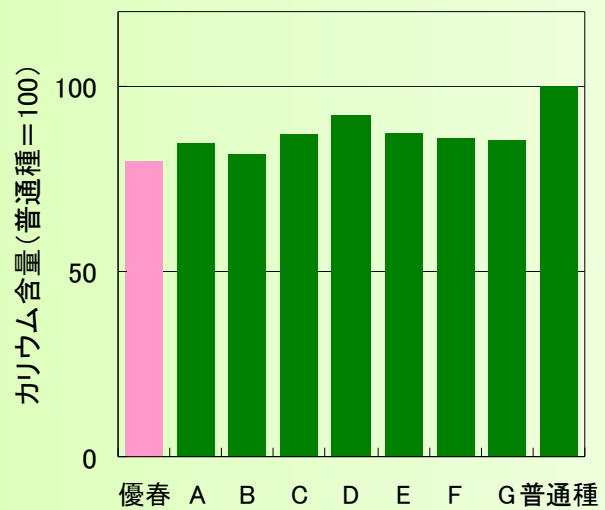
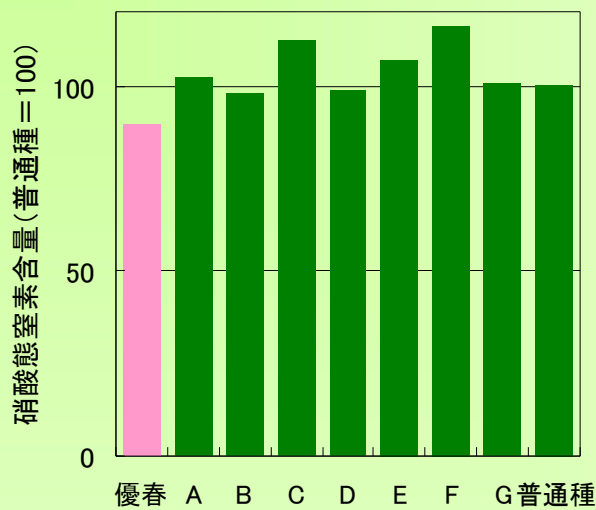
## 畜産センター飼料研究室

畜産センターが（独）農研機構・畜産草地研究所、雪印種苗株式会社と共同で育成したイタリアンライグラス「優春」（ゆうしゅん）が、この度「農業新技術2011」に選定されました。「農業新技術」とは、農林水産省が、農業関係の試験研究機関による農業技術に関する近年の研究成果の中から早急に生産現場への普及を推進する重要なものの普及を推進するために毎年選定しているものです。

「優春」は、牛への影響として硝酸塩中毒や低カルシウム血症の発生、ひいては農家経営への悪影響が懸念される硝酸態窒素やカリウムが植物体に蓄積しにくい早生品種です。また倒伏しにくいことから良質自給粗飼料の安定生産に貢献できるものと期待されます。



「優春」の草姿（左：「優春」、右：タチワセ）



## イタリアンライグラス早生品種の硝酸態窒素の品種間差

畜産センターにおける2006、2007年の春1番草の結果の平均（普通種は2007年のみ）。A～Gは市販早生品種

### 「優春」の主要な農業特性

|                             | 優春     | ワセアオバ   | タチワセ    | はたあおば  |
|-----------------------------|--------|---------|---------|--------|
| 出穂始日 <sup>1)</sup>          | 20.0   | 21.9    | 19.9    | 21.7   |
| 倒伏程度(1番草) <sup>2)</sup>     | 3.0    | 5.7     | 4.4     | 3.0    |
| 草丈(cm)(1番草) <sup>3)</sup>   | 111.4  | 110.7   | 111.6   | 108.0  |
| 乾物率(1番草)(%) <sup>3)</sup>   | 19.5   | 18.2    | 18.1    | 17.6   |
| 乾物率(2番草)(%) <sup>3)</sup>   | 18.4 a | 17.7 ab | 17.9 ab | 17.3 b |
| 冠さび病抵抗性 <sup>4)</sup>       | 弱～中    | 弱～中     | 弱       | 弱～中    |
| 1番草乾物収量(kg/a) <sup>5)</sup> | 93.3   | 96.1    | 94.6    | 92.8   |
| 合計乾物収量(kg/a) <sup>5)</sup>  | 132.9  | 138.5   | 134.3   | 129.6  |
| 粗蛋白質(%) <sup>6)</sup>       | 10.8   | 10.9    | 11.1    | 11.8   |
| ADF(%) <sup>6)</sup>        | 26.4   | 26.6    | 29.1    | 27.3   |

2005年の結果 1)4月1日からの日数、7場所平均 2)1(無)～9(甚)、いずれかの品種で倒伏がみられた5場所の平均 3)8場所平均 4)宮崎畜試 5)東北南部から九州地域までの積雪の少ない6場所の平均 6)茨城畜セ 異文字間に有意差あり(Tukey、5%)

